

Superb FORCE

内圧コントロールバルブ

シュパーブ・フォース 取付ガイド

トヨタ ハイエース 200系 ガソリンエンジン車
(2.0ℓ/2.7ℓ)

この度はNAG SED 内圧コントロールバルブ(シュパーブ・フォース)をお買い求め頂き誠にありがとうございます。
この説明書は内圧コントロールバルブの一般的な取付方法をご案内するものです。取付をおこなう車種、年式により取付方法がこの説明書と異なる場合があります。
また製品の仕様(グレード)によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなって下さい。

高年式車(8年以上経過した車両)は、より性能を活かして頂くために、本製品装着と同時にPCVバルブの交換をお薦めいたします。

1 セット内容 最初にご確認ください。



シュパーブ・フォース本体

2 お客様でご準備いただくもの



タイラップ 2本

シュパーブ・フォースの固定は
タイラップ等でおこなってください。

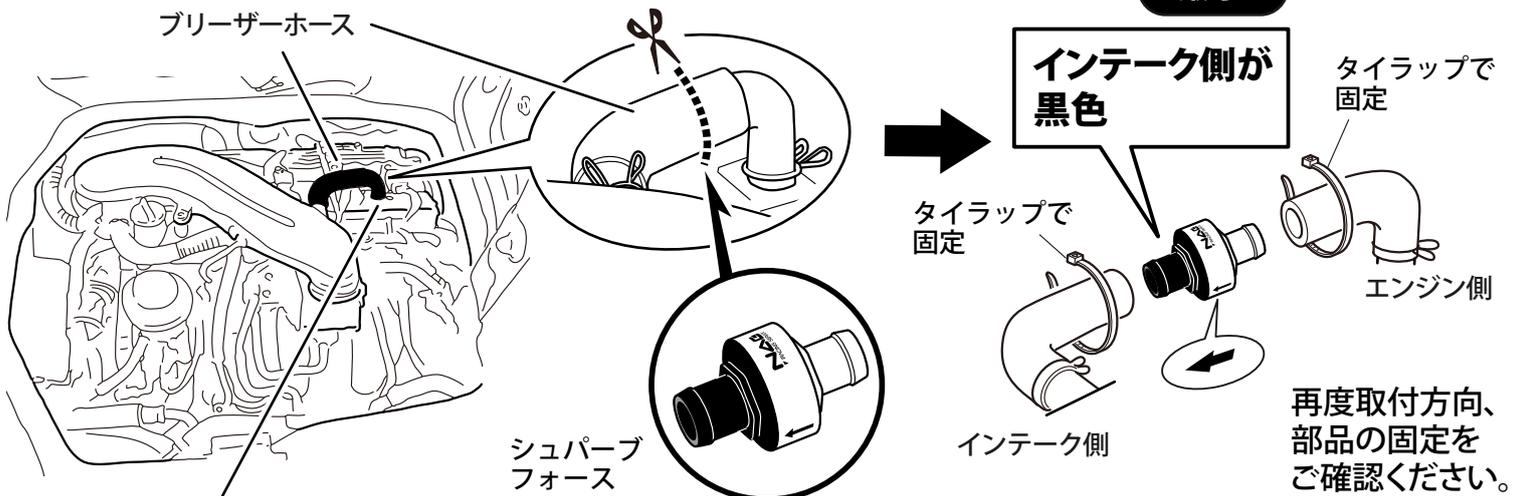
金属バンド等で過度の締付をおこなうと変形して
動作不良の一因となる恐れがあります。

またタイラップでの固定は、万が一にクランクケース
圧が高くなりすぎた際の、安全弁の役割も果たします。

3 シュパーブ・フォースの取付

ブリーザーホースをカットし、
その間にシュパーブ・フォースを装着します。

**取付方向
厳守!**



ブリーザー排出口拡大加工(オプション)

ハイエース200系はエンジンのブリーザー排出口にプラグが挿入されており、
ブリーザーの径が絞られています。

この状態でもシュパーブ・フォースの装着は一定の効果があるのですが、
高回転、高負荷時にはクランクケース圧は高くなりどうしても高速走行時の
伸びの無さを感じられてしまうのです。

シュパーブ・フォースの効果を最大限引き出すためにも
ブリーザー排出口を拡大する加工作業をお奨め致します。

ブリーザー排出口の拡大加工は、エンジンヘッドカバーの外側からドリルで
排出口の奥にあるプラグを揉んで、引っ張りだして外す加工となります。
この際、オイルレベルゲージのパイプからエアガンで加圧しながら
作業をすると、切り粉等をエンジン内に落とすことなく
プラグを外すことができます。

定期清掃

本品はエマルジョンの処理は出来ませんが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。
長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年1~2度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお奨め致します。

清掃方法

軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いで清掃してください。汚れがひどく除去出来ないときには、キャブクリーナーを使用してください。
また清掃にはブラシなどは使用しないでください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。ご不明の点はお問い合わせください。